

まほるば



弘前病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第61号

2006年7月発行

初めての『慰霊祭』

6月16日（金）の午後3時30分から当院大会議室において、平成17年度中に当院で亡くなられた患者様を対象にした「慰霊祭」が行われました。

当院では今回が初めてのことであり、亡くなられた患者様を偲びながら心を引き締める一日としたいとの考えから行われました。

当日は、黙祷後、亡くなられた273名の患者様の名前を一人ひとり読み上げ、その後院長が「皆様の死を無駄にすることなく、これからも研鑽し、良質でかつ適切な医療を行うことを固く誓います。」と祭

詞を述べ、参列した医師や看護師、病院関係者ら61名が祭壇に花を供えました。

今回は、職員だけの慰霊となりましたが、次回以降は遺族や遺族関係者の参加も検討することにしています。



管理課長 齋藤 侯智

【市民講座】“栄養療法について”



栄養と病気との関係については、古代ギリシャのヒポクラテスの時代から言われていましたが、(1) コレラの流行を契機に輸液が考案、(2)

戦争負傷者の救命のために中心静脈への点滴ルートが開発、(3) 宇宙食の開発から経腸栄養剤が開発など先人達の努力を経て栄養療法は発展してきました。

栄養療法には、一般に「点滴」と言われる、静脈から栄養を入れる静脈栄養と、経口、あるいは胃・腸などを介した経腸栄養があります。病気の状態によっては、高カロリーの静脈栄養を必要としますが、胃・腸など消化管が使える場合は、生理的である経口・

経腸栄養を選択することが栄養療法の基本と言えます。10～20年前に比べ、最近では消化管の手術後の断食期間は短くなり、それにともない高カロリー輸液は減ってきています。

病気の回復には栄養療法が必要であり、その栄養管理の方法として最近注目されているのが、NST（栄養サポートチーム）です。NSTは、医師や管理栄養士、看護師、薬剤師など病院内のスタッフが集まり、それぞれの専門性を活かし、栄養管理をサポートするものです。NSTの活動により、栄養障害の早期発見・早期治療、入院日数の短縮などの効果が報告されています。

当院でも、勉強会やNST準備会を立ち上げ、より良い栄養サポートができるよう準備を進めています。

外科医長 横山 昌樹

陸上自衛隊音楽隊による演奏会

6月29日（木）の午後3時30分から当院玄関前のロタリーにおいて、陸上自衛隊青森駐屯地第9音楽隊による「演奏会」が行われました。

この演奏会は、当院院長が5月の弘前駐屯地創立記念行事で音楽隊の演奏を聴いて感動し、この演奏を患者様に聴かせて力を与えたいとの思いから、弘前駐屯地司令に無理をお願いして実現できたものです。（弘前駐屯地司令に感謝）

当日は、さわやかな青空の下、院長が「心待ちにしていました。」と挨拶を

延べ、その後オブラディ・オブラダやサザエさんなど5曲が披露されました。美しくそして迫力のあるハーモニーに、患者様やその家族、職員らが手拍子をしながら楽しそうに聴き入っていました。



管理課長 齋藤 侯智

春の消防訓練



6月28日（水）午後3時から、西1病棟プレールームより出火したとの想定で、消防訓練（総合）を行い、職員の防災の意識の高揚と知識の習得、緊急災害時における的確な対応について学びました。

訓練は、職員と看護学生（模擬患者）合わせて約130名が参加し、火災報知器の鳴動から出火場所の

確認、初期消火、本部設置、非常連絡・通報・放送、応援要請、避難誘導と迅速な行動により出火区域からの避難が完了しました。

訓練終了後、正面玄関前ロータリーで消火器による消火訓練を行い、最後に院長から「患者様の生命が何よりも一番大事。これからも防火対策に力を入れて下さい。」との話がありました。



庶務班長 田中 省剛

【寄贈】写真『爆発』



この度、「三浦内科医院」の三浦行一院長のご厚意により、当院に写真の寄贈がありました。有り難うございました。

多くの方に見ていただけるようにと、早速この写真（作品名「爆発」）を外来ホール（自動販売機のところ）の壁に飾りました。

とても良い写真ですので、少しでも多くの患者様やその家族、お見舞いの方々に見ていただき、喜んでいただければ幸いです。

管理課長 齋藤 侯智

高校生から花束のプレゼント！



毎年6月には、弘前学院聖愛高等学校の生徒から西1病棟（小児病棟）に花束がプレゼントされます。弘前学院では、毎年6月に、神さまに感謝を捧げる「花の

日」礼拝を行っており、その日の放課後、病棟にいる方や日頃お世話になっている方々を訪問して花束を渡しているそうです。

当院では、毎年の恒例行事となっており、今年も弘前学院のご厚意により、6月22日（金）に西1病棟（小児病棟）で、二人の高校生から看護師長らが花束をいただきました。患者様の心が癒されたことでしょう。

庶務班長 田中 省剛

看護学校スポーツ大会



6月20日（火）に、看護学校体育館において「スポーツ大会」を行いました。

学年対抗で、バレーボールやドッジボール、ピンポンリレー、うまい棒食い競争、玉入れ、大縄跳びを競いました。

学生たちは、スポーツ大会に向けて企画を練ったり、放課後にバレーボールの練習をしたり、一生懸命に取り組んでいました。

ちょっと遠慮がちな1年生、パワフルな2年生、実習で疲れ気味な3年生、各学年が総合優勝を目標に一致団結していました。教員は、うまい棒食い競争に全員参加させてもらいました。

学生・教員ともに、実習や講義で日頃運動する機会が少ないため、スポーツ大会でリフレッシュできたと思います。



教員 佐藤 弥生

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2006年7月3日現在)

診療科		月	火	水	木	金
内科		人見博康	小沢一浩	人見博康	小沢一浩	小沢一浩
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
消化器科		佐藤年信 吉谷元	佐藤年信 中畑元	佐藤年信 吉谷元	中畑元 (吉谷元)	佐藤年信 中畑元
小児科		杉本和彦 佐藤啓	野村由美子 遠藤泰史	杉本和彦 佐藤啓	遠藤泰史 野村由美子	杉本和彦 野村由美子
外科		山中祐治 坂本義之	高橋克郎 三上勝也	横山昌樹 山中祐治	横山昌樹 高橋克郎	三上勝也 坂本義之
整形外科	午前	柿崎寛 佐々木資成 近江洋嗣	柿崎寛 菅原卓	佐々木資成 田中大	佐々木資成 大鹿周佐	柿崎寛 田中大
	午後	/	/	/	/	柿崎寛
脳神経外科		/	/	木村正英	/	/
皮膚科	午前	鳴海博美 間山淳	鳴海博美 間山淳	鳴海博美 間山淳	鳴海博美 間山淳	鳴海博美 間山淳
	午後	/	●手術	鳴海博美	●手術	間山淳
泌尿器科		橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘
産婦人科		真鍋麻美 工藤香里	佐藤春夫 工藤香里	真鍋麻美 工藤香里	●妊婦健診	佐藤春夫 真鍋麻美
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子 阿部尚央	黒田令子 阿部尚央	●手術	黒田令子 阿部尚央	黒田令子 阿部尚央
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	/	阿部由直 (午後)	/	/	/
麻酔科		●手術	工藤明	●手術	工藤明	●手術

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

願いを込めて七夕飾り



五節句の一つである「七夕」は、本来は旧暦7月7日の行事です。天の川のほとりに住む天帝の娘織女と牛飼いの牽牛が、年に一度だけ逢うことを許された夜。中国のこの天上の恋物語にちなんだ星祭が伝来したものとされています。星を眺め、祭壇に針などを捧げて、工芸の上達を願いました。奈良時代、日本の大和朝廷でもこれに沿って七夕を祭り、室町時代以降、民間に広まったようです。

七夕の織姫星(織女星)として知られること座の「ベガ」は、真夏のダイヤモンドに例えられるとても美しい星です。地球の歳差運動のため、1万2,000年

後には、天の北極近くに移動し、北極星として輝くようになります。彦星(牽牛星)として知られるわし座の「アルタイル」は、最も自転の早い星の一つで、赤道での自転速度は260km/秒、約6時間半という早さで1回転します。

今年も当院では、外来ホールなどに、手作りの飾りや短冊でいっぱい七夕飾りが登場しました。入院中の患者様や、来院された多くの方々の夢や願いがこもった短冊は、例年どおり住吉神社に奉納させていただきます。

旧暦7月7日、今年は7月31日に当たります。夏の夜空を見上げ、皆様の願いが叶いますように!



庶務係 工藤 真淑

【職場紹介】 西2病棟

廊下を歩く職員数名に聞きました。西2病棟って何病棟？答えは「外科病棟」、「混合病棟」と二つに分かれました。

西2病棟スタッフに聞きました。我が病棟の「自慢」って何？答えは「何でも受けます。」

西2病棟は、ICU 2床を含む49床を入院可能病床とした外科病棟です。山中、三上、横山、高橋、坂本の医師5人衆と、看護師長以下副看護師長2名、看護師・准看護師21名（看護師7名はICUを主に担当）、看護助手1名の総勢25名の看護スタッフが、手術を中心とした治療・看護に当たっています。というのが建前ですが、実際は消化器内科や整形外科を始め、入院患者様の診療科は多岐に渡り、混合病棟化しています。でも、術前の検査から手術、術後退院、あるいは化学療法と消化器内科と外科を転科しながらも、継続して看護できるところは良い

ところだと思っています。

在院日数は短く、一日の入退院患者数が多く、日常の看護は煩雑になっていますが『どんな状態の患者様でも、何科でも、いつでもベッドが空いている限り、笑顔で受けます入院』をモットーに頑張っています。

看護は診療科に関係なく「患者様を中心に」気配りと配慮を持って「生命力の消耗を最小に整えること」を目指して実践しています。

何科の患者様からも信頼される病棟を目指し頑張っています。

看護師長 樋口あけみ



【ふるさと紹介】 千葉県市原市

弘前に来て、早8年目になりました。来た当初に植えていれば柿もなる頃ですね。

私のふるさととは、千葉県市原市というところです。千葉県と言えばみなさんは何を思い浮かべるでしょうか。落花生、東京（ではありませんが）ディズニーランド、酪農（実は日本2位です。）、千葉ロッテマリーンズ、サッカー（ジェフ市原、柏レイソルス）などなど・・・。

千葉県は東京都の隣に位置しており、成田国際空港もあり日本の玄関の一つです。気候は温暖で雪はほとんど降りません。関東平野なので、高い山もなく海に囲まれており形の美しい県でもあります。

みなさんは、千葉県には方言はあまりないとお思いではないでしょうか。実はあります。私の好きな方言は「おいねえ」です。津軽弁では「まいね」に当たります。農家のおばちゃんたちが、「今日はあちくて（暑くて）おいねえや（だめだなあ）」と言っているのを

市原市から房総よりでは聞かなくて済みます。

暴走族も多く、同じく市原から房総よりでは、ロックグループの氣志團のようなツッパリたち

を駅前で見ることができます。女の子の制服のスカートは長くはなく短いですが、男の子のボンタンに短ランは今でも健在です。

こんな千葉県ですが、私はとっても大好きです（良さが伝わりにくい文でしたが）。みなさんも、千葉県に来ることがあれば、ゆで落花生を食べてみて下さい。いっぺんで好きになること間違いなしです！

研修医 黒澤亜矢子



落花生のシロップかき氷

【今月の川柳】

※ 掲載した作品は、広報誌編集委員会で選出したものです。

長いすに なじみのかおが またならぶ (めぐみ)
金婚は 押しつ押しされつ 車いす
ジョウレンを けちらし「まほろば」 載ってやる